

向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。



社会福祉法人イースト
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸151
TEL 075-621-3849
FAX 075-621-1579
発行 平川 義
編集 志 大一郎

愛隣デイサービスセンター

が出来て……

昨年七月より始まった身体障害者デイサービス事業。おかげさまで楽しい雰囲気です。毎日過ごしています。さて、今回は「デイサービスが出来て……生活が変わった」という題で、デイサービスを利用している十一街区の今福義明さんが投稿をしてくださりました。

愛隣デイサービスセンターができて……生活が変わった。

昨年の七月から、愛隣デイサービスセンターにお昼の食事を食べに通うようになって、色々なことが変わりました。体重が四キロも増えました。わたしは、ここ十年間ほぼ一定の体重でしたが、愛隣デイサービスセンターに通うようになって徐々に体重が増えました。太ったのは違いますが、今のところ健康的に太ったといえそうです。というのも、おなかの調子は快調だし、栄養的にもバランスが良くなっているように思うのです。

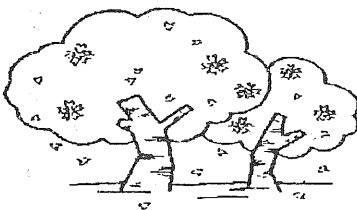


デイサービス利用者の面々(前列左から2番目が今福氏)

また、食事を作る方も、大勢の人が割安で手間も省けていくなものが作れるといえます。一緒に食事を食べる人同志でいろんな話をしたり、時に好き嫌いやリクエストがメニューに反映されたりなど、とってもアット・ホームなデイサービスセンターなのです。そして、食後のコーヒータイムには、将棋好きの者同志が将棋をしたり、オセロ好きの人同志でオセロをしたりします。

市民グループの人たちと「誰もがいきいきと生活できるようにセンター(生活センター)を求めて様々な集会を行なってきました。集いの場であった愛隣館研修センターには、急な階段しかなく、車イス「障害者」者にとっては利用しづらかったのだ。何とかエレベーターを付けようと、バザーや街頭カンパなどを行なってきました。そのための学習会や会食なども行なってきました。

これら活動の甲斐あって、昨年の七月に、身体「障害者」者対象の給食中心型デイサービスセンターとして「愛隣デイサービスセンター」がスタートしたのでした。手足の不自由な重度「障害者」が、地域で当たり前のように生活していこうと思えば、様々なサポートシステムが必要で、自由に起床・就寝・外出・入浴・食事・トイレ・着替え等々の介護が、その「障害」に応じた介護システムが必要なのです。



☆ぼくが調べた・向島の歴史☆

連載 第9回 柏木 正行

紙面の都合上、長らく休載しておりました、八街区在住の車イス詩人・柏木正行氏による長編スベクタ「ぼくが調べた・向島の歴史」を今号より再開いたします。

大規模干拓構想

巨椋池の死滅化が進行する中で、最初の池の全面干拓構想が企画されたのは、一八九六年ですが、本格的な干拓運動が起るのは、一九一三年「干拓期成同盟」が組織されたからです。また、大正時代になると、干拓事業は一旦はスタートするのですが、漁業権の補償問題や財政の都合等で、結局は実現しませんでした。そして、昭和に入り干拓を求める住民運動も広がり、こうした中で、政府は、一九三二年、戦時における食糧増産や、軍用地の確保等と相まって、巨椋池の全面干拓事業の開始を決定したのでした。そして翌一九三三年には、池の干拓工事が始まり、八年後の一九四一年、宇治川の左岸を北限とする新たな耕地が誕生したのでした。

農地や軍用地として

その干拓工事も、日本帝国主義の、朝鮮・中国等への侵略戦争が拡大する中、労働力や資材が不足して、工事は困難をきわめました。しかし、それにもかかわらず、当時のこの種の工事としては、異例とも云えるわずか八年で完成させているのは一体なぜか。それは、この地が、比較的大阪や京都の中心地に近く、しかも当時は人口が希薄なので都市近郊型の農業や、軍用地として適していたからではないかと、私は思うのです。事実、干拓工事が完成すると、

いち早く陸軍の飛行場が建設されていますし、新たに作られた耕地にしても、小作農家や、元の漁民にも払い下げられていますが、これも農地解放以前の日本の厳しい実態を考えれば、破格の扱いではないかと、私は思うのです。いざいざにしても、こうして一度は死滅した巨椋池ですが、干拓工事の結果、耕地として南山城の大地によみがえったのです。

朝鮮からの徴用

しかし、その干拓工事に多くの朝鮮人が徴用された事実も、そうした朝鮮人が、その後どこへ行ったのか、そうした記録は、私が用いている資料には見いだせません。本稿は主に、向島図書館に備え付けの資料に基づいて書いていますが、その資料の中には、学校で児童・生徒に郷土の歴史を教える副読本が含まれています。そうした教育の場で用いられる重要な資料に、どうして巨椋池の干拓と、朝鮮人の徴用問題との関わりを書けないのか。いま、子どもたちに真実を語らなければ、再び過去の過ちを繰り返すことになるのではないかと、私はそうした疑問と危惧とを強く感じるのです。

向島

さて、この向島は、巨椋池に浮かんでいた島の一つで、その沿革については、「京都府地誌」は「豊臣氏桃山在城ノトキ、宇治川ノ前岸ニ在ルヲ

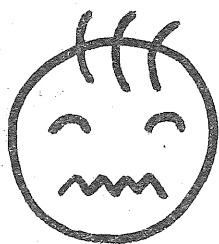


◇テイサーピス・春のお花見◇
見◇ 四月八日火、時間場所等未定。世光教会の「ちいるば弁当」の方々と共に。

◇教会学校イースター◇
イース・キリストの復活をみんなでお祝いします。四月三日(日)、午前六時三十分、世光保育園園庭にて。(雨天時：桃陵保育園ホール)

編集後記 井

毎日に暖かさが増していき、そここに春らしさを感じられるようになって参りました。心地よい風の中、新たな気持ちで新年度を迎え、色々なこととチャレンジしていきたいと思っております。皆様のご多幸を祈りつつ……



以テ此ヲ向島ト称ス、其後漁業聚落ヲナシ一村ノ形ヲナス、慶長中、向島ノ称ヲ用ウ」と記しています。

センターの活動を支えていただき どうもありがとうございました

主の御名を賛美します。

一九九三年度の愛隣館研修センター賛助会員をご紹介させていただきます。なお、献金額は三一八口、七六八万七三〇〇円でした(三月一日現在)。どうもありがとうございました。

今年度は、念願のエレベーター設置、増改築を行なうことができ、七月より一身体障害者デイサービス事業も開始することが出来ました。そのことを皆様方に覚えて戴き、本当に沢山の方々からご支援を戴くことが出来ました。心より感謝します。

まだまだ、暗中模索のような状態ですが、徐々に利用者の方も増えつつあります。この活動をひとつの契機として、地域の中にあって、様々な方に喜んで利用して戴けるセンターづくりに目指して、より一層励んでいかねばと思いを新たにさせられていきます。これからも、より一層のご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

尚、会員の方々のお名前を記させて戴き、感謝の印と代えさせて戴きます。どうもありがとうございます。無記名でご献金くださった方のお名前を書き記すことが出来ませんでした。悪しからずご容赦ください。

1993年度 賛助会員の皆様

～これからもよろしくおねがいたします～

三郎・白川健児・渡辺文子・飯田春宣・富士岡聖夏・赤井麻美・伊藤明・黒多綺子・高橋由紀・小柳選・中村澄江・宇野みさ・酒井登茂代・前川直美・福田和信・芝田有加・藤田妙子・岩尾真里・藤井千賀子・今福義明・栗林千代栄・山下維久子・世光教会・広瀬悦子・安野優美・山崎照恵・白川健児
計 百三十七万二千二百円

《指定献金(エレベーター増改築、クリスマス)》

- 《月定・年間会員》
- 村上知子・斉藤友和・島崎歳子・島崎富子・奥田慎也・松村新子・松村有希子・福田富代子・藤田恭子・後宮忠正・信濃すゑを・木村淳子・後藤敏子・上田圭子・谷口あさ子・高橋めぐみ・下岡一夫・愛子・森弘・作野優美・山本忠義・弘子・新井昌済・柏木正行・法子・新井昌済・荒木拓美・高下恭子・松野正信・清美・坂田幸作・広瀬悦子・江藤淑子・畑谷直巳・李清美・田中春枝・後宮松代・斎恵子・金子町子・近藤政一・恵ヒロ子・高橋幸子・君村千代子・引原勝美・木村春江・木村耕・倉田妙子・石山愛子・松井知恵・川越由美・林栄子・三谷昭子・藤田
 - 《指定献金(エレベーター増改築、クリスマス)》
 - 作野敏子・塚本真一・松村有希子・赤保正典・島崎歳子・佐伯昌祥・府上征三・北村秀次・加治木政子・宮本真希子・中村敏一・朴実・清子・上内鏡子・山崎雅実・久枝・渡辺悠・鳥羽彩子・近藤和江・豊島神愛館・兵藤みや子・佐々浪元彦・平田哲・真貴子・榎本久美江・榎本和子・M I T O Y 松島・松島洋一・武澤信夫・黒田絢・藏田雅彦・川守田陽・村山盛嗣・斎恵子・神谷幸子・西大路誠・潤子・小柳伸頭・玲子・荒川純太郎・奈津江・辻建・金井創・小川居・今井謙・小西和子・田村早千枝・高谷泰市・小林誠治・矢崎邦彦・春木富美・聖澤保育園・塩組ますみ・竹中正夫・角樋平一・君村聡・石川和夫・愛澤登重・横野朝彦・滝口宣今井文子・松藤美千子・成田信義・後宮敬爾・小林休・フジの園・坂岡隆司・寺島昭二・西村幸郎・高村勲・深田未来生・同胞の家・(園長)佐藤剛・土谷二三・(園長)佐藤大森健三・斎藤斉・後宮昭子
 - 中井宏幸・平田哲・近藤孝子・加治木政子・宮本真希子・中村敏一・フジの園・坂岡隆司・森孝一・止揚学園・福井達雨・中田正道・美歌・西田和可子・川守田陽・豊島神愛館・兵藤みや子・角樋平一・伊藤美恵子・島崎富子・恵繁治・内林義継・田中工務店・田中慶明・鞍好子・橋原正彦・榎本久美江・山本透・川上信・神谷幸子・田村早千枝・今井文子・塚本清・小柳伸頭・玲子・聖淨保育園・吉田雅美・近藤和江・シユベネマン・クラウス・杉原輝明・黒多伸枝・健・鳥羽彩子・田中芳三・小西望・君島洋三郎・佐伯昌祥・飯峯明・杉の子保育園・祐村明・木本雅子・柏木正行・松原智国世・佐伯昌祥・君村千代子・信濃すゑを・木村春江・玉井勝也・松井実・中西昌哉・石井真理・中西加代子・田中恒夫・矢崎和彦・高橋めぐみ・志ヒロ子・松野正信・清美・杉本孝子・藤田恭子・舟橋登前川直美・内藤仙太郎・弘子・高橋幸子・後宮忠正・松井知恵・後宮昭子・秋山美美子・尾添由起・荒木拓美・加藤俊明・安野喜仁・藤木隆実・下岡一夫・愛子・作野敏子・上田圭子・三谷昭子・久保具子・山下晶子・谷口あさ子・江藤淑子・森弘・金子博・悦子・桑鶴章子・広瀬政一・乾節・上宮俊夫・近藤政一・乾節・上島良彦・林栄子・湯浅可奈恵・石山愛子・広瀬千代賀・山本忠義・法子・高見敏雄・君村千代子・無記名二名・世光教会・伏見民名・恵塾・教団京都教区総会時カシバ

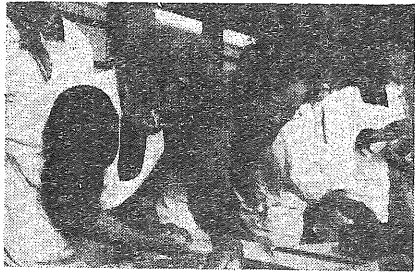
京都教区婦人部総会時カンパ
 ハンマダン・伊藤珠算教室・
 教団京都教会・ちいろば弁
 当・教団京都教会・教団紫野
 教会・教団希望ヶ丘教会・教
 団松戸教会・坂出育愛館・教
 団大和榛原伝道所・教団宇治
 教会・賀川記念館・京都市民
 福祉センター・教団水沢教会
 教団近江野田教会・教団岡山
 教会・榑田中工務店・教団八
 幡ぶどうの木教会・教団鎌ヶ
 谷教会・同徳保育園・教団丸
 太町教会・向島・手話サークル
 ・京都YMCA・世光教会
 克己献金・教団甲子園二葉教
 会・教団河内天美教会・賀川
 記念館・向島あそぼう会・愛
 隣音楽センター・教団琴浦教
 会・同志社女子中学校・高校
 教団熊本草葉町教会・一麦保
 育園・近江兄弟社学園・教団
 志賀郷教会・教団京都復興教
 会・野の百合幼児園・空の鳥
 幼児園・教団緑野教会・教団
 各務原教会・教団神戸栄光教
 会・教団丹波新生教会・教団
 八幡ぶどうの木教会・文教短
 大バザー参加時売上・教団室
 町教会・ベスタロッツ保育園
 教団市川三本松教会・教団紫
 野教会教会学校・教団大和榛
 原伝道所・教団鎌ヶ谷教会・
 教団同志社教会・教団大阪十
 三教会・教団八頭教会・教団
 松戸教会・教団洛陽教会・教
 団高の原教会・教団土佐教会
 教団平安教会・教団甲府教会
 教団松沢教会・伏見民商・教
 団大住世光教会・教団大森め
 ぐみ教会・
 (二三七口
 計 六三一万六千百十八円)

【順不同・敬称略】

「おせち」配食

愛隣館一階の野の百合幼児
 園ホールにて活動をされてい
 る「体操サークル」(十三年
 目の活動)の方々が中心とな
 って、今年度も又、十二月三
 十日に、一人暮らしの高齢者
 や「障害」者の方々に、「お
 せち料理」を配食されました。
 今回で十回目とのこと。当テ
 イサービスセンター利用者も
 4名の方が「おせち」をいた
 だき、「とてもおいしかった」
 と喜んでおられました。地域
 の中で大切な働きとして着
 実に根付いているようです。

高齢者の方々と共に
 「おもちつき」大会



参加された方々



体操サークルの皆様

去る三月十二日(出)、愛隣館
 にて、高齢者の方々と園児ら
 との交流・おもちつき大会が
 開かれました。当日は、あい
 にくの雨模様でしたが、そん
 な雨などには負けず、園庭に
 テントを張り、「二ノ丸老人
 クラブ」・「ふみや会老人クラ
 ブ」等から参加された約三十
 名の方々が、助つた人の園児保
 護者の方々とおもちつきに汗
 を流されました。その後、園
 児らの歌や劇を見ながら、一
 緒におもちを食べ、次年度も
 より多くの方々に参加してい
 ただいて、地域の中で楽しい
 交流の時がもてればと思ひ
 ます。皆様、ご苦労さまでし

成田君

熊本へ!!

長い間、当センターの
 様々な活動を担い、なく
 てはならない存在であつ
 た成田信義君が、この度
 大学院卒業と同時に、熊
 本草場町教会へ伝道師と
 して赴任することが決ま
 りました。
 成田君から皆様への熱
 いメッセージです。
 成田君、長い間ありが
 とう。熊本へ行つても頑
 張ってください。



成田君

京都に移り住んで七年の年
 月が流れました。それは愛隣
 館研修センターなしには語れ
 ないといえるほどの想いで
 しています。そして、今春よ
 り九州は熊本での就職が決ま
 り、京都を後にすることに
 なりました。
 実は、この拙文を柏木さん
 のお宅で書いています。身体

の「障害」と共に自立生活を
 送つておられる柏木さんのお
 宅に、月二回夜間の介護のた
 めお邪魔しています。この様
 な「障害」と共に生きておら
 れる方々との出会いの場は、
 僕にとつては当センターでし
 た。また、月曜学校や補習塾
 「学童」、あそぼう会、補習塾
 て、デイサービス関係の方々
 また、その他、様々な活動で
 センターを利用される方々と
 の出会いも同様です。熊本へ
 移るのを目前にし、お世話い
 たいただいた皆さんには、感謝の
 気持ちでいっぱいです。
 そして、もう一つの意味で
 もお礼を申し上げなければな
 りません。それは、卒業直後
 に結婚するのですが、彼女も
 センターを通じてお世話にな
 りました。彼女もここで多く
 の方々と出会う機会を持ち、
 社会福祉関係の仕事希望し
 ており、結婚後もそのための
 勉強や活動をしていきたいと
 言っています。
 僕たちにとつて、センターは
 「生き方」を問われ、模索
 していく場であつたと思いま
 す。沢山の方々との出会いは、
 僕たちが変えられていくきつ
 かけとなりました。今後、僕
 たちが何らかの壁にぶち当た
 ったとき、共に向島でのごと
 や皆さんのことを思い起せる
 ことは大きな励ましになるで
 しょう。最後に、お世話にな
 った皆さん、当センターを支
 えてくださっている全ての皆
 さんに今一度、言い尽くすこ
 の出来ない気持ちを言わせて
 ください。ありがとうございます。
 そして、今後ともよろしくお願
 いします。